

平成28年度下半期財政の状況

(28年10月1日～29年3月31日)

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、28年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計(水道事業)は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて29年3月31日現在のものです。28年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

積立基金(貯金)

積立基金は、家計でいう貯金のことです。財源の不足に備えるためや、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金などで運用しています。現在高は表1のとおりです。

市有財産

市が保有する土地や建物などの財産は図3のとおりです。

表1 積立基金(貯金)

種類	現在高
一般会計	財政調整基金 34億4185万円
	特定目的基金 64億9864万円
特別会計	17億 366万円
合計	116億4415万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

区分	現在高(元金の残高)
一般会計	建設事業債 97億6596万円
	赤字地方債 113億6462万円
	下水道事業会計 52億1834万円
合計	263億4892万円

※建設事業債＝学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※赤字地方債＝財源の不足を補うための借入金

市債(借金)

市債は、家計でいう借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要で、その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借入れを行っています。現在高は表2のとおりです。

市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市税や固定資産税などの市税負担額とそれに対して市が行う市民サービス費用、また、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は図4のとおりです。

市民サービス費用は一般会計の支出額の中で、市税負担額との差額は、国・都からの支出金などで賄われています。

図3 市有財産

土地
56万4845㎡ (学校・公園ほか)
建物
22万614㎡ (学校・市庁舎ほか)
貸付金
1億円 (土地開発公社)
出資による権利
1億2294万円 (昭島市育英会ほか)

図4 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

29年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。	
【市民1人当たり】	【1世帯当たり】
16万7923円	市税負担額 35万7294円
32万7561円	市民サービス費用 69万6958円
10万3183円	貯金 21万9544円
23万3486円	借金 49万6793円

※29年3月31日現在 人口：11万2850人 世帯数：5万3038世帯

表3 28年度特別会計 歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	142億9120万円	127億6272万円(89.3%)	125億1751万円(87.6%)
介護保険	82億2985万円	79億 933万円(96.1%)	72億7159万円(88.4%)
後期高齢者医療	22億2622万円	22億 664万円(99.1%)	21億9889万円(98.8%)
下水道事業	29億7544万円	24億7129万円(83.1%)	23億2921万円(78.3%)
中神土地区画整理事業	3億1995万円	2億2837万円(71.4%)	2億5284万円(79.0%)
合計	280億4266万円	255億7835万円(91.2%)	245億7004万円(87.6%)

※下水道事業は、前年度からの繰越額(3860万円)を含みます。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

行財政の健全化に向けて

28年度は前年度に引き続き、障害者自立支援のための給付や、保育園の新築・改修などにより、扶助費が増加しました。また、拝島第四小との統合による神駅自由通路等整備など、大規模建設事業が行われました。引き続き、東中神駅自由通路等整備事業、(仮称)教育福祉総合センター整備事業などが予定されています。

29年度においても、今後の財政需要に対応するため、基金の取り崩しと赤字地方債の借入れにより約9億5000万円の財源不足を補わなければならない、今後も厳しい財政状況にあります。

このような中でも市民サービスの維持・向上を図るため、新たな行財政健全化計画を策定し、更なる健全化に向けた取り組みを進めます。☆詳しくは、財政課へ。

28年度の予算現額は、45億1720万円です。執行状況は図1・図2のとおり、歳入では収入率が92.3%、歳出では執行率が81.9%となっています。

施策の大綱ごとの主な取り組み

健康と福祉の充実

保育園新築・改修工事への補助や、子育て世代包括支援センターの設置などを行いました。

明るい地域社会の形成

コンビニ交付サービス(マイナンバーカードを利用しコンビニエンスストアで住民票の写しなど)



▲コンビニ交付サービス



▲新築保育園 Nicot 拝島



▲拝島第一小の増築校舎

産業の活性化

市内商店街の空き店舗を活用して出店する場合の補助や、創業支援のための相談・セミナーを行いました。また、産業振興計画を策定しました。

循環型社会の形成

太陽光発電や住宅用燃料電池の設置費用の補助を行いました。また、友好都市岩手県岩泉町と、環境保全活動を通じて交流を行いました。

教育・文化・スポーツの充実

拝島第四小との統合に伴い、拝島第一小の校舎の増築等工事を行いました。また、玉川会館の外壁等改修工事を行いました。

図1 28年度一般会計 歳入予算の執行状況

歳入	予算現額 451億1720万円	収入済額 416億5566万円 (収入率 92.3%)
市税 (市民税、固定資産税など)	189億6460万円	189億5015万円 (99.9%)
地方消費税交付金 (地方消費税収入の配分金)	24億5000万円	23億7075万円 (96.8%)
地方交付税 (普通交付税、特別交付税)	2億7324万円	2億8674万円 (104.9%)
使用料及び手数料 (施設使用料など)	9億6689万円	8億1751万円 (84.6%)
国庫支出金 (国からの補助金など)	94億4950万円	79億9060万円 (84.6%)
都支出金 (都からの補助金など)	57億6093万円	53億9319万円 (93.6%)
市債 (国・都などからの借金)	17億 150万円	9億2800万円 (54.5%)
その他 (繰越金、繰入金など)	55億5054万円	49億1872万円 (88.6%)

※前年度からの繰越財源(1億7730万円)を含みます。

図2 28年度一般会計 歳出予算の執行状況

歳出	予算現額 451億1720万円	支出済額 369億6527万円 (執行率 81.9%)
総務費 (徴税、住民登録など)	49億7188万円	38億6422万円 (77.7%)
民生費 (福祉の充実など)	217億9937万円	198億2010万円 (90.9%)
衛生費 (健康、ごみ処理など)	36億4137万円	31億4410万円 (86.3%)
土木費 (道路、公園の整備など)	55億 636万円	20億3297万円 (36.9%)
消防費 (災害対策など)	14億5240万円	14億 891万円 (97.0%)
教育費 (学校、スポーツ、文化など)	48億7315万円	39億 657万円 (80.2%)
公債費 (借金の返済)	21億 534万円	21億 337万円 (99.9%)
その他 (議会、農業、商工など)	7億6733万円	6億8503万円 (89.3%)

※前年度からの繰越事業費(1億7730万円)を含みます。